

激動するウクライナを背景に日本経済への影響を読み解く！！

第43回 A G I 成長戦略フォーラム

第1弾
緊急
シリーズ



ウクライナ危機と 食料の安全保障

講師 本間正義 (公財)アジア成長研究所特別教授



講師 本間 正義 氏

(公財) アジア成長研究所特別教授
東京大学名誉教授
内閣府国家戦略特区ワーキンググループ委員
日本農業経済学会元会長

ウクライナ危機は世界の食料安全保障を脅かしています。世界のパンかごといわれる黒土地帯の穀物生産が減少し、輸出が制限され、途上国への穀物供給が滞っています。世界には8億人もの栄養不足人口が存在しますが、この危機でその数が急増しています。

日本は食料の多くを海外に依存していますが、ウクライナ危機を受けて、食料の安定供給への懸念が広がっています。日本は食料安全保障をどのように確立したらいいのでしょうか。世界の食料問題と併せて考えます。

令和4年

9/29(木)

14:00~15:00

参加費
無料

形式 オンライン形式 (ZOOMウェビナー)

申込 【お名前・電話番号・ご所属】をメールで送信

送信先: office@agi.or.jp

申込 9/27 (火) まで

開催前日までに参加用URLをお送りします

お問い合わせ・お申込み

AGI Asian Growth
Research Institute

公益財団法人アジア成長研究所

北九州市小倉北区大手町1-1-4 (担当 下前・谷村)

E-MAIL office@agi.or.jp

TEL 093-583-6202



<http://www.agi.or.jp>

共催：北九州市、北九州商工会議所 後援：一般社団法人西日本工業倶楽部

お送りいただいた個人情報は、当研究所業務に関する情報提供・運営管理に活用させていただき第三者に提供することはありません。

緊急シリーズ
予告

激動するウクライナを背景に日本経済への影響を読み解く！

オンライン

AGI 成長戦略フォーラム

(公財)アジア成長研究所【AGI】では、毎年、地域還元を目指し、市民の皆様にご参加いただける「AGI成長戦略フォーラム」を開催しています。

今回は、“激動するウクライナ”を通じて見えて来た、私たちの生活に直結している『食料』、『エネルギー』や、『国際情勢』に関する課題や現状について、シリーズでお届けします。

43rd

シリーズ第1弾 食料の問題



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



ウクライナ危機は世界の食料問題に影を落としています。世界には8億人もの栄養不足人口が存在しており、この危機でその数が増加しています。また、黒土地帯の穀物生産の減少と輸出制約等で、食料価格の高騰が続いています。日本は食料の多くを海外に依存しており、昨今の政治経済情勢を受けて、食料の安定供給を懸念する声が上がっています。

日本の食料安全保障をどのように確立したらいいのか。世界の食料問題とともに考えて行きたいと思います。

9/29 (木) 14:00~15:00

ウクライナ危機と食料の安全保障

公益財団法人アジア成長研究所 特別教授 本間 正義 氏

講師略歴

(公財)アジア成長研究所特別教授
東京大学名誉教授
内閣府国家戦略特区ワーキンググループ委員
日本農業経済学会元会長

帯広畜産大学卒、東京大学修士、米国アイオワ州立大学博士(Ph.D.)。東京大学助教授、小樽商科大学助教授・教授、成蹊大学教授、東京大学教授、西南学院大学教授を経て現職。主な著作は「農業問題の政治経済学」、「現代日本農業の政策過程」、「農業問題：TPP後、農政はこう変わる」など。



44th

シリーズ第2弾 エネルギー問題



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



ロシアによるウクライナ侵攻を発端として世界規模のエネルギー危機が発生しています。これを機に、脱炭素や再生可能エネルギーが後退するという声も一部にありますが、国連や国際エネルギー機関(IEA)などの世界の主要組織の声明では、寧ろこの危機を乗り越えるためには再エネやエネルギー効率化をさらに加速し、脱炭素を進めることが謳われています。

本講演では、再エネの電力システム統合を中心に、セクターカップリングやデマンドレスポンスなど最新国際動向を紹介いたします。

10/27 (木) 14:00~15:00

ウクライナ危機後のエネルギー安全保障と 再生可能エネルギーの役割

京都大学大学院経済学研究科再生可能エネルギー経済学講座
特任教授 安田 陽 氏

講師略歴

京都大学大学院 経済学研究科 再生エネルギー経済学講座 特任教授
日本風力エネルギー学会理事

横浜国立大学工学部卒、同大学大学院博士課程後期課程修了。博士(工学)。関西大学工学部(現システム理工学部)助手、選任講師、准教授を経て現職。専門分野は風力発電の耐震設計および系統連系問題。各種国際委員会専門委員も務める。主な著作は「世界の再生可能エネルギーと電力システム」シリーズ、翻訳書(共訳)「風力発電導入のための電力系統工学」など。



45th

シリーズ第3弾 国際情勢



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



ロシアのウクライナ侵攻(ウクライナ戦争)は半年を過ぎ、ウクライナの東部と南部で両国軍の攻防が続き、世界規模で情勢は動いています。世界の対応は、厳しい制裁の民主主義国、中立のインドなど新興国、親ロシアの中国などと、三様に分かれました。

この戦争に直接に対面するEU(欧州連合。27加盟国)とその中核国ドイツはこの戦争にどう対応し、どのような災厄をこうむっているのか、また将来をどう展望しているのか、について考えます

11/29 (火) 15:00~16:00
ウクライナ戦争と EU・ドイツ

東北大学 名誉教授 田中 素香 氏

講師略歴

東北大学 教授
中央大学 教授

福岡県生まれ 九州大学工学部・経済学部卒業。経済学博士(九州大学)。下関市立大学助教授を経て、東北大学教授・中央大学教授、日本国際経済学会会長・日本EU学会理事長を歴任。専門分野はヨーロッパ統合論、ヨーロッパ経済論。主な著作は『欧州統合』1982年、『ユーロ危機とギリシャ反乱』2016年、など多数。

